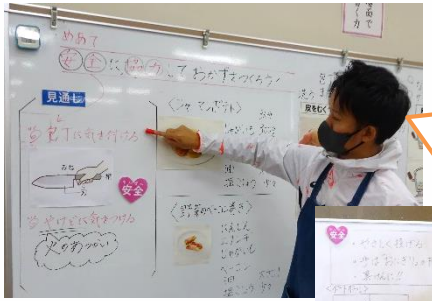
07 学習時間における安全指導



川口小６年家庭科学習

理科や体育科、家庭科などの学習において、**安全に関する見通し**をもたせます。

川口小４年体育科学習

あんぜん
安全

08 小・中合同の避難訓練（大川小・大川桐英中）

大川小学校・大川桐英中学校

同じ敷地内にある大川小学校と大川桐英中学校では、合同で避難訓練を行い、**「自助・共助」**の大切さを指導しています。

09 学習中の事故対応の一方策

道海島小学校

緊急時には、アクションカードを使って、教員が**役割を分担**し、適切に対応できるようにします。

緊急時アクションカード

●大川市学校安全の日の取組●

（毎年：1月13日 実施）

大川市すべての小中学校１０校で取り組んでいます！

1月13日 学校安全の日　安全カードづくり

田口小学校

子どもたちが見つけた危険箇所を安全カードで知らせる取組です。

1月13日 学校安全の日　児童による端末を活用した安全点検活動

子どもたちが見つけた校内の危険箇所を、端末に記録し、共有できるようにする取組です。

三又小学校

令和５年度、大川市では文科省・県の委託を受け、川口小を拠点校に、市内学校全体で学校安全総合支援事業に取り組んでいます。市内８小２中の学校安全に係る活動計画をまとめました。

大川市学校安全活動計画

お問合せ：大川市教育委員会 学校教育課

住所　大川市大字酒見256番地１

TEL　0944-85-5614

MAIL　okwkyoi-gakumu_k@city.okawa.lg.jp

引用文献：「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（文科省）
イラスト：(独）日本スポーツ振興センターフリーイラスト集

学校安全リーフレット Vol. 2

安全教育 編

学校事故を起こさない

子供の安全 みんなで守ろう！

大川市イメージキャラクター

大川市学校安全実践委員会
大川市小中学校校長会
大川市教育委員会

令和５年12月

01 安全教育とは…

学校安全

- 安全管理
  Vol. 1
  令和５年４月発行
- 安全教育
  Vol. 2
  令和５年12月発行
- 組織活動
  Vol. 3
  令和６年発行予定

・各教科等
（体育，社会，理科，生活，技術，家庭，道徳等）
・総合的な学習の時間
・特別活動
（学級活動，学校行事，児童会活動，生徒会活動等）
・日常の学校生活での指導や個別指導

自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培い、進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質・能力を育成する。

02 安全教育の進め方

④ 学校安全計画（後期）

月		10	11	12	1	2	3
月の重点		乗り物の乗り降りに気を付けよう	災害に備えた生活をしよう	安全な冬の生活をしよう	災害から身を守ろう	道路標識を守ろう	安全な生活ができるようにしよう
道徳		思いやり・親切	家庭愛	勇気	勤勉・努力	節度・節制	愛校心
安全学習	生活	・たけひご、つまようじの使い方	・郵便局見学時の安全	・はさみ、ステープラーの使い方	・カッター、ナイフの使い方	・ガスコンロの使い方	・移植ごての使い方
	理科	・太陽観察時の注意 ・塩酸、水酸化ナトリウム等水溶液の取り扱い方（6年）	・ポリ袋、ゴム風船の使い方 ・地震による土地の変化（6年）	・鏡、凸レンズ、ガラス器具の使い方	・カセットコンロ、蒸発皿の使い方	・針金、プラスチックの使い方 ・ホウ酸の取り扱い方	・アルコールランプの使い方（確認）
	社会	関東大震災（6年）			私たちの国土（台風）（5年）		くらしを守る（東日本大震災が起き て）（3・4年）
	図工	・彫刻刀の管理と使い方	・彫刻刀の管理と使い方	・竹ひご、細木の使い方	・陶器作製時の注意	・小刀の管理と使い方	・卒業作品作製時の安全
	家庭	・アイロンの使い方	・快適な住まい方 ・暖房器具の使い方	・住宅用洗剤の使い方	食品の日付表示	・油の安全な取扱い方 ・フライパンの使い方	・調理用具・器具の安全な使い方
	体育	・マット、跳び箱運動時の安全	・けがの防止（保健）―事故が起こりやすい場所確認 サッカーゴール、遊具	・持久走時の安全	・ボール運動時の安全	・跳躍運動時の安全	・固定施設利用時の安全（サッカーゴール）
	総合	「自分たちでつくろう 安全をⅠ～Ⅳ（学校安全集会）」（3～6年）※1～2年生は、学活で実施					
安全	低	○机や棚の整理 ○電車、バス内での安全な過ごし方（付き	○災害時の正しい行動の仕方 ○安全な集団行動	○暖房器具の安全な使い方 ○冬休みの安全な過ごし方 ○交差点の通り方	○安全な服装 ○雪が降ったら ◎地震の時の避難の仕方 ○サッカーゴール	○身近な道路標識 ○雪の日の歩き方、遊び方	◎けがをしないために ○交差点の通り方 ○ヒヤリハット体験から考えよう ○気持ちを落ちつかせて
						安全指導を行う。	
						身近な道路標識	○けがをしないた

○運営方針や指導の重点、取組のねらいと内容を全教職員で共通理解する。
○PDCAサイクルの中で、取組の内容や手段、体制が適切であったか定期的に振り返る。

川口小学校安全計画

03 安全教育のポイント

○児童生徒が、安全について自ら考え、主体的に行動するためのエ夫を行う。
・「安全マップづくり」など体験的活動 04
・ICT機器などデジタル技術の活用 05
・危険予知トレーニングなどワークショップ等 06
○教科等の安全に関する内容のつながりをもたせた教育課程を編成する。 07
○「自助」「共助」「公助」の視点をもつ 08 09

04 体験的活動を取り入れた安全学習（事例１）

地域の人たちは、私たちが安全に生活してほしいと願っているよ。

学習指導案

川口小３年生総合的な学習の時間「自分たちでつくろう安全をⅠ」

見守り隊や青パトなど安全を守るために取り組まれている方々の思いや願いを知り、**安全マップ**を作成し、自分達も地域の一員として安全について発信しました。

05 デジタル技術を活用した安全学習（事例２）

どの学年にも危険なことが伝わりやすいVR動画になっているかな。

学習指導案

川口小４年生総合的な学習の時間「自分たちでつくろう安全をⅡ」

自分達で作成した廊下を走る危険性を伝える**VR動画**を視聴し、他学年に対して注意喚起できる動画に改善するために必要な工夫を考えました。

06 KYT（危険予知トレーニング）を活用した安全学習（事例３）

友達が遊んでいるブランコに近づいたら、ぶつかってあぶないよ。

学習指導案

川口小１年生学級活動「休み時間を安全にすごそう」

養護教諭から校内でのけがの統計について話を聞き、廊下や運動場で起こりえる**危険を予想**し、どのように行動したら安全に過ごせるか考えました。